

I 団体情報

1 基本情報

...R7評価シート（R6決算）より転記
...R6具体的な行動計画より転記
...新たな記載欄

団体名	(公財)札幌市芸術文化財団	所管課	市)文化振興課
基本財産	81,212千円	記入者	担当 林 電話 011-211-2261
設立年月日	昭和61年(1986年) 4月1日	本市出資額	40,606千円 (出資割合 50.00%)
設立・出資目的	(設立目的) 札幌からの新しい芸術文化の創造を目指し、芸術文化に関し、広く一般に、参加と鑑賞の機会を提供するとともに、優れた創作活動の奨励を図り、もって市民の豊かな情操の涵養と我が国の芸術文化の向上発展に寄与することを目的とする。 (出資目的) 設立目的と同じ。	沿革	昭和61年 (財)札幌芸術の森設立 平成11年 (財)札幌市教育文化財団と統合し、 平成19年 (財)札幌市芸術文化財団へ名称変更 平成25年 (財)札幌彫刻美術館と統合 公益財団法人へ移行
代表者	理事長（非常勤） 秋元 克広（市長）		
主な出資者	① 札幌市 (50.0%) ② 札幌市芸術文化財団 (43.8%) ③ 北海道新聞社 (0.6%) ④ 毎日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑤ 朝日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑥ 読売新聞社北海道支社 (0.6%)		

2 実施事業

① 札幌芸術の森及び本郷新記念札幌彫刻美術館の管理・運営事業	② 札幌コンサートホールの管理・運営事業
③ 札幌市教育文化会館の管理・運営事業	④ 札幌市民ギャラリーの管理・運営事業
⑤ 札幌市民交流プラザの管理・運営事業	⑥
⑦	⑧

➡「事業ごとの状況」参照

3 団体職員・構成員等

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員					
常勤理事	1	0	0	0	11
常勤監事	0	0	0	0	
非常勤理事			8		
非常勤監事			2		
職員					
常勤管理職	4	6	12	3	216
常勤一般職	1	0	99	65	
非常勤職員			26		

役員の任期		
理事	2	年
監事	4	年
代表権のある役員の就任年月		
理事長	H27.6	
副理事長	R7.7	
職員総数の推移(人)		
R05.4.1時点	215	
R06.4.1時点	218	

令和7年4月1日現在(単位：人)

プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	21
20歳代	22	50歳代	21
30歳代	46	60歳代	1
平均年齢		38.6	歳

プロパー職員の退職・採用状況（人）					
	退職		採用		募集
	定年	中途	新卒	中途	
R4	3	7	3	5	若干名
R5	0	2	1	5	若干名
R6	0	3	2	5	若干名
R7	1	1	若干名	若干名	若干名

補足
新卒採用に加え、転職者や専門性に長けた人材の採用を行っている。

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分		R5年度決算	R6年度決算	経常収益比	(前年比)
財務状況	正味財産増減計算書				
	経常収益(a)	3,745,794	4,024,040	(100.0%)	(+278,246)
	経常費用(b)	3,701,897	4,169,728		(+467,831)
	うち管理費等(c)	14,619	15,324	(0.4%)	(+705)
	うち人件費(d)	1,046,927	1,173,306	(29.2%)	(+126,379)
	当期経常増減額(e)	43,897	▲145,688		(▲189,585)
	当期正味財産増減額(f)	35,993	▲154,842		(▲190,835)
	資産(g)	2,698,768	2,706,502		(+7,734)
	流動資産(h)	1,257,628	1,082,015		(▲175,613)
	固定資産(i)	1,441,140	1,624,487		(+183,347)
	うち基本財産(j)	81,212	81,212		(0)
	負債(k)	742,102	904,679		(+162,577)
	流動負債(l)	569,827	688,985		(+119,158)
	固定負債(m)	172,275	215,694		(+43,419)
貸借対照表	正味財産(n)	1,956,666	1,801,823		(▲154,843)
	借入金残高(o)	0	0		(0)

6 所管局による検証（R6行動計画より）

今後の在り方 (設立・出資目的が現在も同様に続いているかにも触れること。)	(1) 団体の在り方、出資の在り方 本団体は上記の目的により、札幌市が主体となって設立・出資したものである。その目的は現在も同様に続いている。 令和6年6月策定「第4期札幌市文化芸術基本計画」に掲げる文化振興施策の実現にあたっては、本団体が担うサッポロ・シティ・ジャズ、Kitaraファースト・コンサートなど、数多くの取り組みが不可欠であり、今後も札幌市と本団体とが丸となり多様な事業を展開する必要がある。 また、本団体は、多数の文化施設の管理業務を担っており、札幌市における文化芸術振興の中核となる施設である札幌芸術の森や市民交流プラザなど、6つの文化芸術施設について、専門的な知識や経験、幅広いネットワークなどを生かし、長期的な視野に立った継続的な事業運営や人材育成、ノウハウの蓄積などを行いながら、指定管理業務を担っている。 したがって、本団体には今後も引き続き出資・設立目的に沿った事業展開を求めるべきものとする。 (2) 経営の安定性や自立を高める方策 本団体は、札幌における芸術文化施設の運営に関する豊富な経験とともに、多岐にわたる高度な専門性や企画力、高い利用者満足度を維持するための様々なノウハウを保持し、関連団体や地域と良好な関係を築いてきた。 こうした強みを維持向上させるため、中長期的な見通しに基づき、意欲の高い人材の確保を進めるとともに、職員育成のため、実践につながる研修や研鑽の機会の一層の充実や、個性や能力等に応じた管理職からの定期的なフィードバック等により、職員一人一人の能力や意識、意欲の向上を図り、組織の持続的な発展を目指す。 また、自己財源の安定的な確保と、収入と支出のバランスが取れた適切な経営を維持するため、効率的な管理運営、幅広い事業展開による収入の確保に取り組む。加えて、様々な情報媒体の活用と、あらゆる世代に向けての情報発信により利用者数の増加を目指すとともに、協賛金や助成金等による外部資金の獲得を行う。
--	--

7 他の政令指定都市の状況

- ・政令指定都市を対象に、文化芸術系外郭団体の市政への関与を調査したところ、16都市より回答を得た。
- ・16都市からの回答で、外郭団体は26団体。そのうち、当団体と同様に施設管理とソフト事業の両者を担うのは、15団体と半数程。
- ・外郭団体が管理する104施設のうち、公募指定管理は52施設、非公募指定管理は44施設、業務委託（随契）は4施設であった。
- ・人的関与については、出資比率を問わず、市職員あるいは市OBの派遣が実施されている。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	52,853	144,468	(+91,615)
市委託料	2,683,335	2,789,109	(+105,774)
市業務委託料	3,900	3,900	(0)
うち随意契約	3,900	3,900	(0)
市指定管理費	2,679,435	2,785,209	(+105,774)
うち非公募	2,598,676	2,703,441	(+104,765)
(参考) 再委託額	1,165,364	1,410,572	(+245,208)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(43.4%)	(50.6%)	(+7.2%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	532,012	563,559	(+31,547)
うち非公募	512,408	545,214	(+32,806)

II 事業ごとの状況

事業内容 1	札幌芸術の森及び本郷新記念札幌彫刻美術館の管理・運営事業		採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	…R7評価シート（R6決算）より転記 …R6具体的な行動計画より転記
			×	×	○	×	
主要事業名	札幌芸術の森及び本郷新記念札幌彫刻美術館の管理・運営事業	【設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性】	【芸術の森】文化芸術都市さっぽろのシンボルとして施設の管理運営を行うとともに、多数の展覧会や観覧会、サッポロ・シティ・ジャズ等の事業を主催し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい文化芸術の場を創出する。 【彫刻美術館】施設の管理運営を行うとともに、多くの展覧会を開催し、彫刻を中心とした美術の振興を図る。				

1.事業内容				市支出欄	金額欄
【札幌芸術の森】				市指定管理費（非公募）	707,712（千円）
① 施設の管理運営				市補助金	11,125（千円）
② 主催事業					（千円）
(1) 音楽・舞台芸術事業					（千円）
(2) 芸術の森美術館事業					（千円）
(3) 工芸・工房事業					（千円）
(4) 利用促進他					（千円）
【本郷新記念札幌彫刻美術館】					（千円）
(1) 展覧会事業					（千円）
(2) 本郷新記念札幌彫刻賞					（千円）
(3) 貸館事業					（千円）
(4) 普及事業					（千円）
(5) 協力事業					（千円）
(6) 利用促進					（千円）

2.実施結果							
(1)事業収支（単位：千円）				(2)活動指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
項目	R5年度	R6年度		① 芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	33事業	33事業	43事業
収入	913,702	885,832		② 優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	66事業	65事業	75事業
（経常収益比）	(+24.4%)	(+22.0%)		③ トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	18事業	24事業	27事業
市補助金・交付金・負担金	11,125	11,125		④ 地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	20事業	18事業	23事業
市業務委託料	0	0		⑤ 利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	39事業	32事業	34事業
市指定管理費	706,929	707,712		(3)成果指標			
市施設利用料金収入	74,424	53,271		① 芸術の森 総入園者数（人）	503,747	500,000	325,612
自主事業収入（補助金除く）	19,687	16,991		② 芸術の森 利用者アンケート結果（％）（施設、職員対応等が「普通」以上の割合）	96	95	95
その他収入	101,537	96,733		③ 彫刻美術館 入館者数（人）	12,548	13,500	16,361
項目	R5年度	R6年度		④ 彫刻美術館 利用者アンケート結果（％）（施設、職員対応等が「普通」以上の割合）	97	95	98
費用（支出）	922,804	953,596		⑤			
事業費	851,925	910,055		3.所管局による評価			
管理費等	70,879	43,541		事業目的に対して事業の効果は □十分出ている ■高める余地あり □出していない			
項目	R5年度	R6年度		芸術の森では、多彩な展覧会を実施し、創意工夫をしながら事業実施に努めた点は高く評価できるものの、展覧会入場者数の伸び悩みや、野外美術館謎解きイベントの開催期間が当初計画よりも短縮したことが要因となり、入園者数は目標値を下回った。展覧会をはじめ、市民や観光客にとって魅力ある事業の実施に努めていただきたい。			
収支差	▲ 9,102	▲ 67,764		彫刻美術館では、主催展覧会のほか多彩な普及事業を開催する等、集客に向けた工夫を行い、多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供したことについて高く評価できる。			
収支比率	99.01%	92.89%					

事業内容 2	札幌コンサートホールの管理・運営事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	... R7評価シート（R6決算）より転記 ... R6具体的な行動計画より転記
		○	×	○	×	
主要事業名	札幌コンサートホールの管理・運営事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		国内有数の音響を誇る音楽専用ホールとして、施設の管理運営を行うとともに、著名演奏家の招聘や親しみある演奏会の開催など、数多くのコンサートを主催し、音楽文化環境の創造や音楽文化の普及振興を図る。		

1.事業内容		市支出欄	金額欄
① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 音楽鑑賞事業 (3) 教育・人材育成事業 (5) その他事業（名義共催公演） (7) チケット等販売事業 (2) 音楽普及事業 (4) 全国ホール等とのネットワーク事業 (6) 利用促進・PR活動 (8) Kitaraボランティアとの連携		市指定管理費（非公募）	632,301（千円）
		市補助金	30,915（千円）
		市委託料（随意契約）	3,900（千円）
			（千円）
			（千円）
			（千円）
			（千円）
			（千円）

2.実施結果					
(1)事業収支（単位：千円）				(2)活動指標	
項目	R5年度	R6年度			
収入	953,084	990,211		① 芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	17事業
（経常収益比）	(+25.4%)	(+24.6%)		② 優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	68事業
市補助金・交付金・負担金	28,915	30,915		③ トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	13事業
市業務委託料	3,900	3,900		④ 地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	22事業
市指定管理費	627,219	632,301		⑤ 利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	30事業
市施設利用料金収入	177,020	179,794			
自主事業収入（補助金除く）	8,249	12,087		(3)成果指標	
その他収入	107,781	131,214		① 利用率（大ホール）（%）	84
項目	R5年度	R6年度		② 総利用人数（人）	295,558
費用（支出）	984,032	1,002,900		③ 利用者アンケート結果（%）	96
事業費	925,898	962,437		④	
管理費等	58,134	40,463		⑤	
項目	R5年度	R6年度			
収支差	▲ 30,948	▲ 12,689		3.所管局による評価	
収支比率	96.85%	98.73%		事業目的に対して事業の効果は □十分出ている ■高める余地あり □出していない	

総利用人数は目標を下回っているため、引き続き多彩な公演やその魅力を発信する広報によって、さらなる改善に向け取り組んでいくことが求められる。

各主催事業では、質の高い多様な公演を実施し、市民へ音楽鑑賞の機会を提供するとともに、地元音楽家への活動支援や世界的音楽家からの指導を受けることができるセミナーを実施するなど、音楽文化の普及・人材育成にも力を入れていることは高く評価できる。

事業内容3	札幌市教育文化会館の管理・運営事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	R7評価シート（R6決算）より転記 R6具体的な行動計画より転記
		○	○	○	×	
主要事業名	札幌市教育文化会館の管理・運営事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		音楽、舞踊、演劇、美術等の舞台芸術の制作及び発表の場として、施設の管理運営及び多彩な事業を展開し、本市の舞台芸術の振興を図る。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 舞台芸術に関する事業 (2) 文化芸術活動を行う人材の育成 (3) 札幌市民芸術祭 (4) 広報活動	市指定管理費（非公募）	322,084（千円）
	市補助金	83,503（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）

2.実施結果

(1)事業収支（単位：千円）

項目	R5年度	R6年度
収入	231,712	507,207
（経常収益比）	(+6.2%)	(+12.6%)
市補助金・交付金・負担金	2,000	83,503
市業務委託料	0	0
市指定管理費	228,146	322,084
市施設利用料金収入	139	68,834
自主事業収入（補助金除く）	216	24,443
その他収入	1,211	8,343
項目	R5年度	R6年度
費用（支出）	237,058	543,251
事業費	230,825	526,901
管理費等	6,233	16,350
項目	R5年度	R6年度
収支差	▲ 5,346	▲ 36,044
収支比率	97.74%	93.37%

(2)活動指標

①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	12事業	15事業	15事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	38事業	42事業	42事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	19事業	24事業	24事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	18事業	22事業	22事業
		6事業	8事業	9事業

(3)成果指標

①	大ホール利用率（%）	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
②	総利用者数（人）	-	80	89
③	利用者アンケート結果（%）（施設、職員対応等が「普通」以上の割合）	-	290,000	223,649
④		-	93	94
⑤				

3.所管局による評価

事業目的に対して事業の効果は

☐十分出ている

☒高める余地あり

☐出していない

大ホール利用率は目標値を上回ったものの、休館明けの諸室利用率が伸び悩んでいるため、今後も積極的に施設利用者登録の推進や利用促進に繋がる取組に励んでいただきたい。
主催事業では、施設の機能や特性を十分に生かし、質の高い伝統芸能公演を提供したことは高く評価できる。特にリニューアルオープンを記念した野外イベントでは、他財団施設や地域住民と連携のうえ、伝統芸能の振興や今後の自主事業の誘客に寄与しただけでなく、市民の能楽関心を高める契機となった。

事業内容 4	札幌市民ギャラリーの管理・運営事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	R7評価シート（R6決算）より転記 R6具体的な行動計画より転記
		○	/	○	○	
主要事業名	札幌市民ギャラリーの管理・運営事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		各種展覧会の拠点会場として、市民の使用に供するために施設の管理運営を行い、本市の文化芸術の振興を図る。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
① 施設の管理運営	市指定管理費（公募）	81,768 (千円)
② 主催事業		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)

2.実施結果

(1)事業収支（単位：千円）

項目	R5年度	R6年度
収入	101,374	101,391
（経常収益比）	(+2.7%)	(+2.5%)
市補助金・交付金・負担金	0	0
市業務委託料	0	0
市指定管理費	80,759	81,768
市施設利用料金収入	19,604	18,345
自主事業収入（補助金除く）	825	863
その他収入	186	415
項目	R5年度	R6年度
費用（支出）	99,431	100,539
事業費	95,930	99,177
管理費等	3,501	1,362
項目	R5年度	R6年度
収支差	1,943	852
収支比率	101.95%	100.85%

(2)活動指標

①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	4事業	3事業	3事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	9事業	7事業	7事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	4事業	3事業	3事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	4事業	4事業	4事業
		2事業	2事業	2事業

(3)成果指標

①	展示室の利用率（％）	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
②	入場者数（人）	83	85	83
③	利用者アンケート結果（％）（施設、職員対応等が「普通」以上の割合）	146,682	135,000	120,628
④		95	93	95
⑤				

3.所管局による評価

事業目的に対して事業の効果は

☐十分出ている

☒高める余地あり

☐出していない

重量壁改修工事に伴う休館などが要因となり、展示室の利用率及び入場数は目標に到達しなかった。今後も施設稼働率向上のため、利用者サービスの提供や、新規団体・個展開催者への積極的な働きかけに努めていただきたい。主催事業では、PRキャラクターのグッズをイベントの景品にするなど、子どもが多いという地域の特性を活かし、若い世代も積極的に参加できるイベントを数多く開催したことは高く評価できる。

事業内容5	札幌市民交流プラザの管理・運営事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		○	○	○	×	
主要事業名	札幌市民交流プラザの管理・運営事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		舞台芸術、音楽、美術等の企画、制作及び実施等を通じて、文化芸術活動及び生涯学習の振興と人々の来訪及び交流の促進を図ることにより、市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上と地域のにぎわいの創出に寄与する。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
① 施設の管理運営	市指定管理費（非公募）	1,041,344（千円）
② 主催事業	市補助金	13,276（千円）
1 札幌文化芸術劇場に関する事業	市負担金	5,649（千円）
(1) 創造事業		（千円）
(2) 鑑賞事業		（千円）
(3) 普及・育成事業		（千円）
(4) 交流事業		（千円）
(5) 舞台技術向上への取組		（千円）
2 札幌文化芸術交流センターに関する事業		（千円）
(1) 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業		（千円）
(2) 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業		（千円）
3 広報・利用促進に関する事業		（千円）
(1) 広報		（千円）
(2) 利用促進		（千円）

2.実施結果		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
(1)事業収支（単位：千円）				
	項目	R5年度	R6年度	
	収入	1,548,033	1,541,264	
	（経常収益比）	(+41.3%)	(+38.3%)	
	市補助金・交付金・負担金	10,813	18,925	
	市業務委託料	0	0	
	市指定管理費	1,036,382	1,041,344	
	市施設利用料金収入	260,825	243,315	
	自主事業収入（補助金除く）	54,737	47,547	
	その他収入	185,276	190,133	
	項目	R5年度	R6年度	
	費用（支出）	1,477,014	1,504,784	
	事業費	1,396,888	1,442,411	
	管理費等	80,126	62,373	
	項目	R5年度	R6年度	
	収支差	71,019	36,480	
	収支比率	104.81%	102.42%	
(2)活動指標				
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	16事業	5事業	46事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	74事業	53事業	83事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	43事業	14事業	51事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	32事業	15事業	24事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	14事業	14事業	12事業
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	札幌文化芸術劇場ホール利用率（%）	92	90	85
②	札幌文化芸術交流センター利用率（%）	88	85	94
③	来館者数（図書・情報館含む）	1,523,758	1,400,000	1,561,125
④	利用者アンケート結果（%）（施設、職員対応等が「普通」以上の割合）	95	80	97
⑤				
3.所管局による評価	事業目的に対して事業の効果は ☐ 十分出ている ☒ 高める余地あり ☐ 出していない 劇場利用率は目標をやや下回ったものの、練習室や文化芸術交流センターの利用は目標を上回り、施設および事業に関する広報・宣伝活動を積極的に展開したことで、総来館者数は156万人に達した。今後も利用者の声を参考に、より利用しやすい施設となるよう、常に対応改善を検討されたい。 主催事業では、多面舞台と最新の舞台機能を生かしたクオリティの高い舞台芸術に親しむ場を市民に提供し、多彩な事業を数多く展開したことは高く評価できる。			

III 役員・管理職情報

令和7年7月1日現在

OB・現職	役職	団体職名（現在）	市職位等（出身）	就任年月日	職務内容	派遣・再就職が必要な理由
市OB	常勤役員	専務理事	元部長職	RO.O		（R6具体的な行動計画の人的関与欄、市職員部HP公表内容等を参照の上、入力ください）
現職	非常勤役員	理事長	市長	H27.6		
現職	常勤役員	副理事長	局長職	R7.7	理事長の補佐 各事業部、総務課及び財団の 総括的運営に関する業務の総 理	本団体は、札幌市の文化芸術行政を補完し、公益的な役割を担う使命のもと、札幌市と連携しながら、札幌の芸術文化の振興を担っている。 当該職は、財団の代表理事として、理事長（札幌市長）を補佐し、事故ある場合はその職務を執行する立場にあり、市の政策に精通し、市と連携調整を図りながら財団運営、事業を統括推進することのできる人材として、札幌市の幅広い行政知識と経験を有するとともに、特に文化芸術施策に精通し、かつ高い経営能力を有している局長職経験者の配置または局長職の派遣が必要である。
現職	非常勤役員	理事	局長職	R7.6		
現職	常勤管理職	事務局長／ 芸術の森事業部長事務取扱	部長職	R7.4	公益財団法人札幌市芸術文化 財団の統括に関すること 札幌芸術の森及び本郷新記念 札幌彫刻美術館の運営総括及 び施設を活用した文化芸術振 興のための各種事業の実施	派遣職員を通じて、本市との密接な連携のもと、本市の文化芸術施策と連動した事業を展開し、芸術文化振興に効果をあげている。 業務の特質上、組織全体の包括的な管理を行うにあたっては、人事管理の専門的知識や豊富な行政運営経験が必要なため、部長職職員の派遣が必要である。 特に、各施設の事業部間を調整する総括部門である事務局（総務課）においては、その機能の充実を図るため、派遣職員の能力が必要である。 また、当該職は多彩な文化芸術を扱い、敷地内に多くの施設を擁する札幌芸術の森や、本郷新記念札幌彫刻美術館を所管し、組織の運営、予算の執行について円滑に執り行える能力に加え、本市の文化芸術施策と連動した事業を展開し、本市と一体となった運営をしていく必要があることから、本市の行政に精通した部長職の派遣が必要である。
市OB	常勤管理職	コンサートホール事業部長	元部長職	R5.4	札幌コンサートホールの運営 総括及び施設を活用した文化 芸術振興のための各種事業の 実施	貸館業務等について、札幌市の関連条例等に基づき公平かつ中立的に業務を遂行する必要がある。 また、本団体の主催事業を実施するにあたり、札幌市の芸術文化施策と密接な連携を図る必要があることや、国内外のトップクラスの演奏家をはじめ、関係団体との調整や協議が不可欠であること、本団体の規則等が札幌市に準じていることから、行政経験を有し、組織運営や事務管理、職員の指導・育成経験など、管理職としてのマネジメント能力を有する人材が必要であるため。
市OB	常勤管理職	教育文化会館事業部長	元部長職	R5.4	札幌市教育文化会館及び札幌 市民ギャラリーの運営総括及 び施設を活用した文化芸術振 興のための各種事業の実施	貸館業務等について、札幌市の関連条例等に基づき公平かつ中立的に業務を遂行する必要がある。 また、本団体の主催事業を実施するにあたり、札幌市の芸術文化施策と密接な連携を図る必要があることや、伝統芸能や市民の多種多様な芸能活動を支える関係団体との調整や協議が不可欠であること、本団体の規則等が札幌市に準じていることから、行政経験を有し、組織運営や事務管理、職員の指導・育成経験など、管理職としてのマネジメント能力を有する人材が必要であるため。
市OB	常勤管理職	教育文化会館事業部管理課長	元課長職	R7.4	札幌市教育文化会館の管理運 営等の総括及び施設を活用し た文化芸術振興のための各種 事業の実施	当該職は、札幌市教育文化会館の管理運営業務等において利用者に対する公平な取扱が求められるほか、札幌市の関係条例等に基づき公平かつ中立的に業務を遂行し、市と密接な連携を図りながら、各関係団体や機関との調整や協議が不可欠であることから、行政経験を有し、組織運営や事務管理、職員の指導・育成経験など管理職としてマネジメント能力を有する人材が必要であるため。

市OB	常勤管理職	教育文化会館事業部振興課長	元課長職	R4.4	札幌市民ギャラリーの管理運営等の総括及び施設を活用した文化芸術振興のための各種事業の実施	当該職は、札幌市民ギャラリーの管理運営業務等において利用者に対する公平な取扱が求められるほか、札幌市の関係条例等に基づき公平かつ中立的に業務を遂行し、市と密接な連携を図りながら、各関係団体や機関との調整や協議が不可欠であることから、行政経験を有し、組織運営や事務管理、職員の指導・育成経験など管理職としてマネジメント能力を有する人材が必要であるため。
現職	常勤管理職	総務課長	課長職	R6.4	公益財団法人札幌市芸術文化財団の統括に関すること	派遣職員を通じて、本市との密接な連携のもと、本市の文化芸術施策と連動した事業を展開し、芸術文化振興に効果をあげている。 また、芸術文化振興に係る事業は、新たな手法や独創的なアイデアとともに実行されることから、限られた財源や人員を効率的に活用し、本市の施策とのバランスもとりながら適切な事務処理が行われるよう、豊富な行政運営経験を持つ課長職による監督が必要である。 特に、各施設の事業部間を調整する総括部門である総務課においては、その機能の充実を図るため、派遣職員の能力が必要である。
現職	常勤管理職	施設課長	課長職	R6.4	指定管理施設の維持管理、修繕、工事の総括に関すること	本市が所有する公共施設として、施設や設備等の適切な維持管理や修繕、長期的な保全が行われる必要があり、本市との密接な連携のもと、派遣職員を通じた市の施策や専門的な知見の活用に効果をあげている。 特に、老朽化が進む施設が多く、大規模、高額な修繕とならざるを得ないものがあり、札幌市の予算や保全計画と連動した計画的な修繕が必要となることも多いことから、豊富な行政運営経験を活かした業務を行い、効率的な情報収集をもって、最小の費用で最大の効果をあげることができる技術職の課長職を施設管理担当として派遣する必要がある。 今後も老朽化に伴う文化芸術施設の改修が続いていくため、派遣職員の能力はさらに重要なものになっている。
現職	常勤管理職	市民交流プラザ事業部長	部長職	R5.4	札幌市民交流プラザの運営管理及び施設を活用した文化芸術振興のための各種事業の実施	派遣職員を通じて、本市との密接な連携のもと、本市の文化芸術施策と連動した事業を展開し、芸術文化振興に効果をあげている。 業務の特質上、その執行には人事管理の専門的知識や豊富な行政運営経験が必要なため、引き続き職員の派遣が必要である。 特に市民交流プラザは、札幌の文化芸術の拠点として整備され、財団が管理する施設の中においても組織、財政規模が最も大きい施設であり、このように大きな組織の運営、予算の執行について、円滑に執り行える能力に加え、本市の文化芸術施策と連動した事業を展開し、本市と一体となった運営をしていく必要があることから、本市の行政に精通した人材が求められる。 よって、本市の文化施策を踏まえた的確なマネジメントをして安定的に事業を進めていくためには、部長職の派遣を継続する必要がある。
現職	常勤管理職	市民交流プラザ事業部管理課長	課長職	R6.4	札幌市民交流プラザの運営管理及び施設を活用した文化芸術振興のための各種事業の実施	派遣職員を通じて、本市との密接な連携のもと、本市の文化芸術施策と連動した事業を展開し、芸術文化振興に効果をあげている。 業務の特質上、その執行には人事管理の専門的知識や豊富な行政運営経験が必要なため、引き続き職員の派遣が必要である。 特に、本施設の特性から、図書・情報館を所管する教育委員会やMICE関係を所管する観光・MICE推進部などの市の関係部局や、当該複合施設に入居する企業・団体に組織するさっぽろ創世スクエア管理組合との調整場面も多く、また、財団内の各施設間の連絡調整の窓口は各管理課長が担っており、文化芸術の中心的な拠点として位置付けている市民交流プラザの管理課長に市の課長職を配置することで、本市の施策方針や考え方を速やかに全施設に周知浸透させ、現場レベルで調整していくことが可能となる。

【芸術の専事業務】

●市副総長
○市副総長
□契約職員
△パート職員

●専務部長 1 (事務局長事務取扱)

○管理部長 1

○業務部長 1

○事務職員 5 (18人) 部長を含まない職員数

□契約職員・一般職・事務 7

△パート職員 4

●施設担当部長 0 (施設課長事務取扱)

●施設担当部長 0 (施設課長事務)

○事業部長 1

○事業部長 1

○事務職員 4 (12人)

□契約職員・一般職・事務 3

△パート職員 2

○事業担当部長 1

○副施設担当部長 0 (市民交流プラザ事業部センター事業担当部長兼務)

□芸術の振興部長 1

○芸術の振興部長 1 (新増長)

○事業部長 1

○事務職員 8 (14人) 部長を含まない職員数

□契約職員・一般職・事務 1

□契約職員・一般職・事務 (主幹事業) 2

○副施設担当部長 1

○創作普及部長 1

○工務部長 1

○事務職員 3 (28人)

□契約職員・専任職(再雇用) 1

□契約職員・専任職 5

□契約職員・専任職(主幹事業) 1

□契約職員・一般職・技術 1

□契約職員・一般職・事務 3

△パート職員 8

△パート職員(主幹事業) 4

○彫刻美術部長 1 (彫刻美術部長事務取扱)

○業務部長 0 (彫刻美術部長事務取扱)

○事務職員 1 (9人)

□契約職員・専任職(再雇用) 1

□契約職員・一般職・事務 1

△パート職員 4

□彫刻美術部事務担当部長 1 (部長)

	専務部長	副専務部長	専務部長	事務・技術職	契約職員	専任	一般	技術	パート	合計
●市副総長	(1)	(0)	(0)	21		6	18	0	22	67
○市副総長	(0)	(0)	(0)	(21)						(42)
□契約職員	(1)	(1)	(0)			(0)	(18)	(0)		(20)

☐ 市保健部長
☐ 市保健部長
 (支配人)

市OB・常勤
 職位・元部長職
 兼任：R5.4

(15 人) 部長を含まない職員数

●市保健職員
 ○プロパー職員
 □契約職員
 △パート職員

○管理部長 1
 ○業務部長 1
 ○事務職員 5
 □契約職員・専任職 1
 □契約職員・一般職・事務 4
 △パート職員 2
 ○副総務部長 1 (総務課施設課担当係長兼務)

○事業部長 1 (新支配人) (15 人)
 ○事業部長 1
 ○事務職員 4
 □契約職員・一般職・事務 1
 □契約職員・一般職・事務(主幹事業) 1
 ○営業部長 1
 ○事務職員 2
 □契約職員・一般職・事務 3
 □契約職員・一般職・事務(主幹事業) 1

	部長職 1	部長職 2	係長職 4	事務・技術職 11	契約職員 専任 1 一般 10 パート 0 2	合計 31
●市保健	(0)	(0)	(0)			(0)
○プロパー	(0)	(0)	(4)	(11)		(17)
□契約職員	(1)	(0)	(0)		(1) (10) (0)	(12)

●市選出議員
○アドバイザー職員
□契約職員
△パート職員

□事業部長 (常勤) 1
市OB・常勤
職位:元部長職
着任: R5.4

□管理部長 1 (総務課施設担当係長事務取扱)
市OB・常勤
職位:元課長職
着任: R7.4

○業務係長 1
○事務職員 4
□契約職員・一般職・事務 3
△パート職員 1

○舞台係長 1
○事務職員 1
□契約職員・一般職・事務 2

○事業部長 1 (市民芸術祭係長事務取扱) (14 人) 部長を含む主な11職員数
○事業係長 1
○事務職員 3
□契約職員・一般職・事務 3

○事業担当係長 1
○市民芸術祭係長 0 (事業部長事務取扱)
○事務職員 1
□契約職員・一般職・事務 2

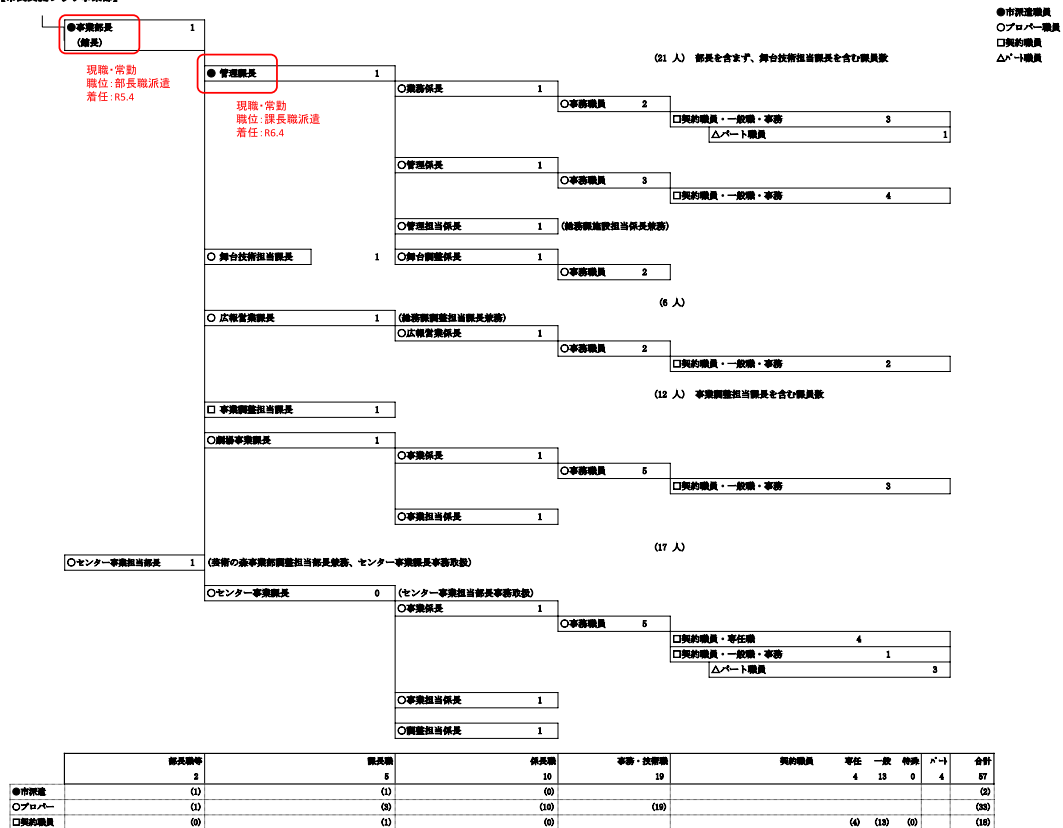
□契約部長 1 (7 人)
市OB・常勤
職位:元課長職
着任: R4.4

○契約係長 1
○事務職員 1
□契約職員・一般職・事務 3

○調整担当係長 1

	部長職	係長職	係長職	事務・技術職	契約職員	専任	一般	特務	パート	合計
●市選出	(0)	(0)	(0)	10		0	13	0	1	24
○アドバイザー	(0)	(1)	(0)	(10)						(17)
□契約職員	(1)	(0)	(0)			(0)	(13)	(0)		(14)

【市民交流プラザ事業部】



公益財団法人札幌市芸術文化財団 役員名簿

(令和7年7月1日予定)

理事

職 名	氏 名	公職等
代表理事 (理事長)	秋元 克広	札幌市長
代表理事 (副理事長)	石川 義浩	(公財) 札幌市芸術文化財団 副理事長
理 事	阿部 典英	美術家
理 事	雨貝 尚子	北海道教育大学 名誉教授、札幌音楽家協議会 顧問
理 事	大川 壽美子	書家、藤女子大学 元教授
理 事	太田 晃正	劇場プロデューサー
理 事	奥岡 茂雄	美術評論家
理 事	知野 学	札幌市市民文化局長
理 事	廣田 恭一	札幌商工会議所 専務理事
理 事	本郷 弦	俳優

任期：令和9年6月の定時評議員会終結の時まで

監事

監 事	佐藤 昭彦	岩本・佐藤法律事務所 弁護士
監 事	田瀬 祥夫	(一社) エリアクラフト北海道 代表理事、公認会計士

任期：令和11年6月の定時評議員会終結の時まで

評議員

職 名	氏 名	公職等
評議員	阿部 博光	北海道教育大学 名誉教授、札幌音楽家協議会 顧問
評議員	荒木 太郎	(公財) 札幌交響楽団 専務理事
評議員	伊藤 千織	(一社) 北海道デザイン協議会 会長
評議員	佐藤 友哉	美術評論家
評議員	下沢 敏也	札幌文化団体協議会 会長、陶芸家
評議員	下総 仁志	芸術の森地区連合会 会長
評議員	砂川 一茂	放送作家
評議員	千田 雅子	舞踊家
評議員	平原 一良	(公財) 北海道文学館 理事長
評議員	本郷 りょう	会社員 (出版業)
評議員	米森 正貴	札幌市市民文化局文化部長
評議員	渡會 純价	版画家

任期：令和11年6月の定時評議員会終結の時まで